

小水力発電について

○背景

- ・小水力発電の導入促進のため、平成25年6月の河川法改正により、従属発電について登録制を導入。
- ・農業用水路の約600地点に中小水力発電の導入適地あり(環境省調査より)。
- ・従属元が慣行水利権である場合の取水量把握方法を明確化し、周知。

○検討内容

- ・慣行水利権を使用した従属発電など、小水力発電の導入拡大による未利用エネルギーとしての河川の有効活用方策等について検討

○アウトプットイメージ

- ・慣行水利権を使用した従属発電の導入支援策として、実施事例や登録手順等の解説を掲載したガイドブックを作成
- ・導入促進策の検討

河川敷地の利用について

○背景

- ・河川敷地を賑わいのある水辺空間として、積極的に活用したいという要望の高まりを受け、平成23年度に河川敷地占用許可準則を改正し、民間活力の活用による魅力ある水辺空間形成の取組を導入。
- ・効果的な取組であるが、一部地域での実施にとどまっており、全国的な展開が課題。

○検討内容

- ・占用許可準則を活用した魅力ある水辺空間形成の普及促進に向けた方策等について検討

○アウトプットイメージ

- ・魅力ある水辺空間形成の導入支援策として、準則を活用した取組を掲載した事例集を作成
- ・占用許可準則のさらなる緩和の可能性の検討

検討スケジュール(案)

【H26年度】

12月 第1回検討委員会

小水力発電の推進に関する現状と課題、小水力発電に関するヒアリング(小水力発電関係者2名)

1月 第2回検討委員会

河川敷地の利用に関する現状と課題、河川利用に関するヒアリング(河川利用関係者2名)

2月 第3回検討委員会

ビジネス、経営、地域振興等の観点による講演(委員またはゲストスピーカー)、これまでの議論を踏まえた論点整理・課題整理

【H27年度】

3~4回程度の検討会を開催予定